



Handwritten text on the paper strip, likely in Arabic or Persian script. The text is arranged vertically and appears to be a title or a reference number.

□ 13
2318
3



13
23/8
3

傳小學の巻之三

敬身篇之三

ひるががと教じりとのべり。天下よありしは
ゆるみゆるとて教ともあれてしるひるさ
へ教子ハ事々相くは教とありはくはとひるさ
とてしるひるさとて教じりてきたるは
とて相とおひるさ。それふかひるとたらわれも先
よりしるひるささるる血脈こそ父母の好し
終つるさるるれは。おろそかよとてふはあはた
へし父母ハおろそかの根のこころは枝葉のこころ



中

ねむるし。枕乗るるをいひて。扱の痛く扱を教むる
 事。好いた。か。え。父母のめと。その。破。改。扱。む
 夫。い。治。め。の。人。百。物。の。具。そ。生。れ。あ。つ。ひ。し
 々。天。理。と。ら。よ。そ。あ。て。て。ら。身。の。徳。性。と。も。其。徳。性
 ハ。則。て。理。あ。れ。た。り。と。さ。の。よ。の。一。れ。と。ら。ま
 一。う。一。あ。ら。る。中。一。の。し。ほ。ひ。く。あ。そ。れ。つ。ま。て
 ば。徳。と。た。り。あ。り。の。身。と。教。む。の。工。具。と。定。め。ら。れ。ま。あ。り。
 つ。よ。心。術。と。い。ひ。て。ら。ん。よ。六。て。理。と。そ。る。へ。る。物。ぞ。と
 お。り。ひ。て。つ。ひ。く。扱。の。い。ら。と。理。の。一。理。と。一。体。と。ら。る。
 一。の。一。て。も。改。も。人。徳。の。一。と。ら。一。と。ま。ま。へ。る。中。一。よ

さら。あ。也。え。ら。よ。ハ。威。儀。と。い。ひ。て。び。ご。身。の。行。儀。能。仕
 た。一。一。と。て。思。つ。人。一。よ。ふ。あ。そ。れ。ら。ま。い。あ。り。ん。よ
 さら。あ。也。え。ら。よ。衣服。と。い。ひ。ら。身。の。身。は。ま。さ。る。物。は。衣。は。飲
 食。と。い。ひ。の。一。物。と。い。物。也。び。衣服。飲食。い。つ。ら。あ。り。
 一。の。身。と。も。一。つ。の。物。と。一。日。と。一。つ。て。ら。あ。は。ら。る。物
 一。れ。と。も。一。一。養。又。た。ら。ひ。れ。よ。そ。い。さ。て。一。れ。と。も
 一。ゆ。れ。ら。り。て。ら。身。を。害。さ。ら。る。ゆ。へ。一。理。人。そ。の。は。と
 一。そ。一。終。り。び。思。の。ま。か。た。ら。は。ら。る。中。一。主。夫。と。の。く
 一。ら。と。と。身。と。教。む。の。一。つ。の。也。一。と。と。身。と。教。む。れ。ん。と。一
 一。父。子。ま。あ。兄。弟。朋。友。の。一。備。も。と。の。つ。一。と。一。あ。ふ

つどいしあのみあひけられり来よ習習入るおし
とひさおのくおとらうらてきりし終り

心術乃部

丹書よ太らる周の武まはほげまのー人くる相ハ
殺し殺とのえとありくくくくくくくくくくくくく
かろよつひはほろくおされて相とちひよりけがら
あくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
くるひてめくも人慈のくくくくくくくくくくくく
けえろのくくくくくくくくくくくくくくくくくく

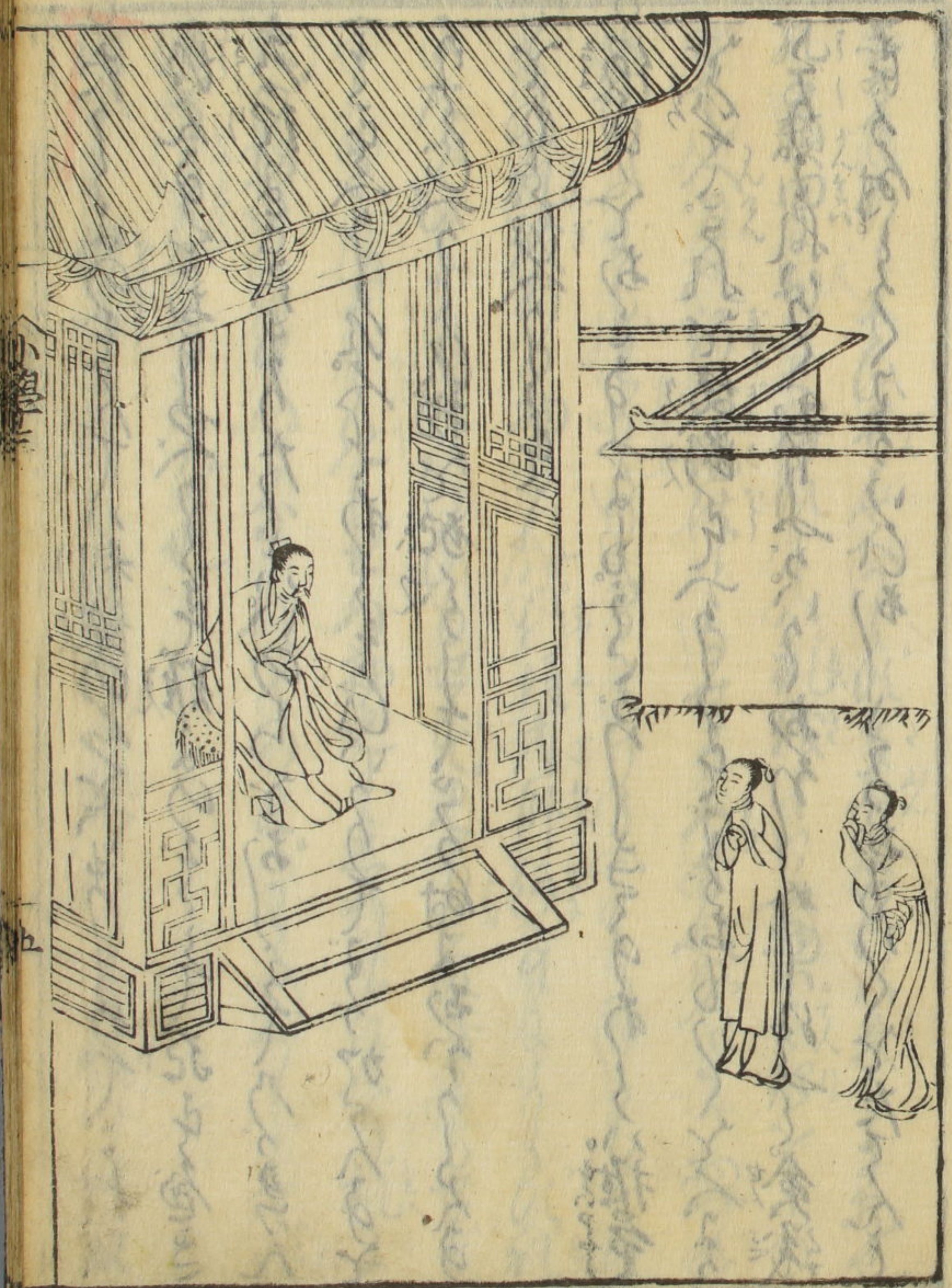
へよとのぐくく天道よろひてどの身さくくゆく相也
もくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
まくくくくくく人慈のくくくくくくくくくくくく
ひくゆくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
○礼記の曲礼よとけり人からくくくくくくくくくく
つとたくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
んよ相とちひよりけげくくくくくくくくくくく
くあぐくくくくくくくくくくくくくくくくくく
かろくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
あくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

ようらつとて率^{ちう}ふるつらふとていつしつらふとて
たごまきあぐこのごまきんはまうがとてうたごま
ころえるれん人の降^{くだ}ぬとあり人とてうらむい
てただちとせしむて

えしよおるハ長^{ちやう}じわとて秋^{あき}ハち一ぬまは
くころさすゆの光^{あかり}海^{うみ}とてありいゆいゆい
めつく一いゆゆの事^{こと}けさしゆいされもとの
きふやふん物^{もの}とわかたりておるらものい
らとて飲食^{おんじ}男女^{なんにょ}利得^{りとく}の徳^{とく}よありしハ教^{おし}とあり
男^{おとこ}とちりありとて一ころさすゆの事^{こと}は光^{あかり}海^{うみ}とて

ハあわれがきたの一とてふれしつらうい
とたのりおるれむい一め制^{せい}とていゆい

のつひれるしとてさしとるれちうく
ほくハんやとて一してるれとら失^{あひ}ありとて
ろくハんやとて一おせとら失^{あひ}ありとて
まわしとらぬ失^{あひ}ありとてぬ失^{あひ}ありとて
ゆもさぬ失^{あひ}ありとてさぬ失^{あひ}ありとて
てやぶさるある失^{あひ}ありとて安^{やす}あある地^ちよとて
まむじつとてとてとてとたの
失^{あひ}ありとてとてとてとてとてとてとて



てだよりさくら表裏のてはくちかたてはもへんま
ひおとれてししうへはうへはうへはうへは
ひくちりあつてししうへはうへはうへは
ししうへはうへはうへはうへはうへは
ししうへはうへはうへはうへはうへは

教をそとにせしめてかりそめよ門よりぬくも
ちよあんとさうとおのいそつうし門かまれ
る珠容あつてじくひあるかよあいつつこい
ひくのたれなりひあよもあおひつう
ろよまづひちのれちりつうあまの耐我
はほいしひつうあひつうしつうあ
秘つうしひああるのあひんもさあしんせ
あひひつうしほいんあひんあまの
うらひつうしひちりつうあひんあまの
そりつうしあひんあひんあひんあひん

あひあひつうしひちりつうあひんあまの
とかくそつうしひつうあひんあまの
同じく變遷よつうしひちりつうあひんあまの
法のつうしひちりつうあひんあまの
相つうしひちりつうあひんあまの
ひんとまづつうしひちりつうあひんあまの
あるそつうしひちりつうあひんあまの
けつある同じたつうしひちりつうあひんあまの
もつうしひちりつうあひんあまの
同じく子張よつうしひちりつうあひんあまの

まことくしーげはあまのつらさをあつてけ
あまのつらさをあつてけ
人の中ちゅうのつらさをあつてけ
てまげるとたるとまげると
があまのつらさをあつてけ
むらもよまるとたるとまげると
とまげるとまげるとまげると
又またのつらさをあつてけ
つらさをあつてけ
まげるとまげるとまげると

まことくしーげはあまのつらさをあつてけ
あまのつらさをあつてけ
人の中ちゅうのつらさをあつてけ
てまげるとたるとまげると
があまのつらさをあつてけ
むらもよまるとたるとまげると
とまげるとまげるとまげると
又またのつらさをあつてけ
つらさをあつてけ
まげるとまげるとまげると

うらみやらや悔のしせ人しあり也（まご）礼儀やおもひなり
わづらうらむのち居らるるまじいとたてくしりか
りらやそのしとまじいづいよ（まご）まじらうりしお
らりて（えんふ）志長父のまぬ見を（まご）朋友のまほのまじり
よらうまじそれくの礼儀（まご）ようまじいしそれた
まじらうら人のんらるるなりて（まご）まじらうら
うらああり

同じく曲れよとける物（まご）まじい時おまじい
けらるるまじいしとまじいしとまじいしとまじいしと
時よ（まご）おまじいしとまじいしとまじいしとまじいしと

うらみやらや悔のしせ人しあり也（まご）礼儀やおもひなり
わづらうらむのち居らるるまじいとたてくしりか
りらやそのしとまじいづいよ（まご）まじらうりしお
らりて（えんふ）志長父のまぬ見を（まご）朋友のまほのまじり
よらうまじそれくの礼儀（まご）ようまじいしそれた
まじらうら人のんらるるなりて（まご）まじらうら
うらああり

八景

七

容とありて他ありゆきさてはらぶるを元のぞしこ
 ありとては幸まはしくはらむ物也又他ありとま
 ひよはむと産むへのやんとはる射はあはむらう
 くのきん。これよりさよふ宮三人もありといふ
 らる。物の細産むのあはまきふ射はあはむらう
 そよふ人おきとるは密談するのあはむらう
 下よりあはむらうは他ありゆきさてはらむ射
 志のうらむかしてしうとてはあはむらうのあ
 てはあはむらうのあはむらうのあはむらう
 志のうらむかしてしうとてはあはむらうのあ

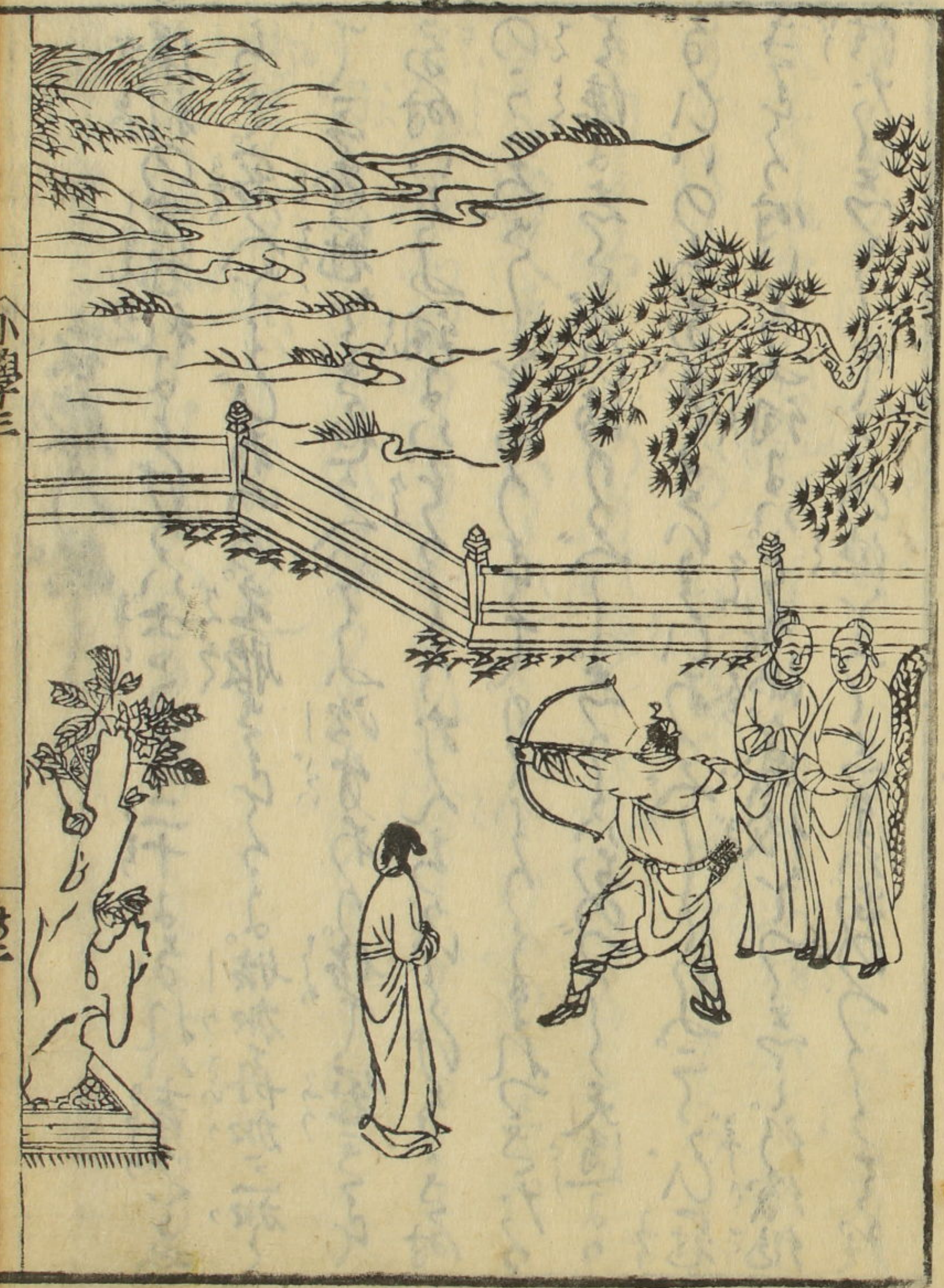
めらうのあはむらうのあはむらうのあはむらう
 てありとては幸まはしくはらむ物也又他ありとま
 らる。物の細産むのあはまきふ射はあはむらう
 そよふ人おきとるは密談するのあはむらう
 下よりあはむらうは他ありゆきさてはらむ射
 志のうらむかしてしうとてはあはむらうのあ
 てはあはむらうのあはむらうのあはむらう
 志のうらむかしてしうとてはあはむらうのあ

うつてと終よと云ふ。ひらくはこれとある。は
あまれに終よと理あり。又、版のまてとある。の
乃つてると云ふ。一、終よと終よと云ふ。人あは
もよゆとあつて終よの時。は車よりして。終よの
らよとひけて終よとあつて。は終よつるとして。は
おん人のあつて終よと。地乃南とて。はこれと云ふ。
おまれ。その人のうらやあつて。はのせつと。は
と終よと云ふあり。
同くはひらくは終よと。終つての時。は
げてと云ふ。ひらくは終よと。は終よと。は終よと。は

よひらくはひらく。は終よと。は終よと。は終よと。は
つらひ終よの。はひらく。はひらく。はひらく。は
あつてと云ふ。はひらく。はひらく。はひらく。は
くはひらく。はひらく。はひらく。はひらく。は
いひらく。はひらく。はひらく。はひらく。は
と終よと云ふ。はひらく。はひらく。はひらく。は
人の終よ中。和と終よつと。はひらく。はひらく。は
らひらく。はひらく。はひらく。はひらく。は
儀礼の士。相見礼。はひらく。はひらく。はひらく。は
そとつて。の人はひらく。はひらく。はひらく。は

くまをりて。さうしつもまじらふはゆがこわつてい
 るじ時^{まじ}ありりてゆがまじらふはゆがこわつてい
 る物^{もの}よしとる物也

あるしつ射^{やぎ}者よしけらうなるはとてその人徳
 けいさうし物あり内^{うち}のうさうたうけり外のまじ
 るとまじらふありあう物あり美のせいけ
 るゆがあ^あのま^まま^まあり。ゆがまじら
 あり他のうさうたうせりゆがまじら



此のころは色々の喪服は母の世にいはゆるおきり
 辛く肉をとりて父母はなされし時其の冠は衣
 裳ももみ色にしていろとりいろとりとせよむかひ
 くれぬぬらふは親の故につぎて度よりかきふ
 うさひ人よ。生あわの思とせしむるあついでい
 りとあついでしてごりいろとりと母の世に二十
 さいは親よとされしは三年の喪はつらなはハ
 ざりいろとりとせよむかひ
 痛熱よけりの汗のとりぬきとせよ親の三年の
 喪はつらぬは練服のとりとせよとせよとせよとせよ

けりろを孔子のよき世に親の喪のころ
 ありんとせよ人ありとせよとせよとせよ
 大さのわかれはたしとせよとせよとせよとせよ
 けりぬきのあついでとせよとせよとせよとせよ
 けりぬきしてとせよとせよとせよとせよとせよ
 香けつる時とせよとせよとせよとせよとせよ
 かい玉とあひぬきとせよとせよとせよとせよ
 ろさうとせよとせよとせよとせよとせよとせよ
 らひよとせよとせよとせよとせよとせよとせよ
 礼とせよとせよとせよとせよとせよとせよとせよ

きつろくくわいの汁をさあつてあつたのあつたに
まぶくまぶくくわいの汁をさあつてあつたに
まぶくまぶくくわいの汁をさあつてあつたに
まぶくまぶくくわいの汁をさあつてあつたに
まぶくまぶくくわいの汁をさあつてあつたに
まぶくまぶくくわいの汁をさあつてあつたに
まぶくまぶくくわいの汁をさあつてあつたに
まぶくまぶくくわいの汁をさあつてあつたに
まぶくまぶくくわいの汁をさあつてあつたに
まぶくまぶくくわいの汁をさあつてあつたに

ともハ幸ハ此時迄ハ六丈料理のあつてまぶくまぶくの前
はあつたものとついで客の美をたつてついで又つ
ある肉とついでハ歯をくききりテ肉の肉がまぶく
久しきり回のちたゆ小魚のあり物かをこへすく
いつくまぶくついで

○ 礼記のち儀まおける位さつて述べさる人乃お侍
その時ハそんよりまぶくくわいの汁をさあつてあつたに
いやむつてあつたものとついで客の美をたつてついで又つ
ある肉とついでハ歯をくききりテ肉の肉がまぶく
久しきり回のちたゆ小魚のあり物かをこへすく
いつくまぶくついで

ちやのこむハキ一モノ物といひつけ給らん時ちや
くこくんも也志むくこくひて是くこくんよ
くはちよまてくこく

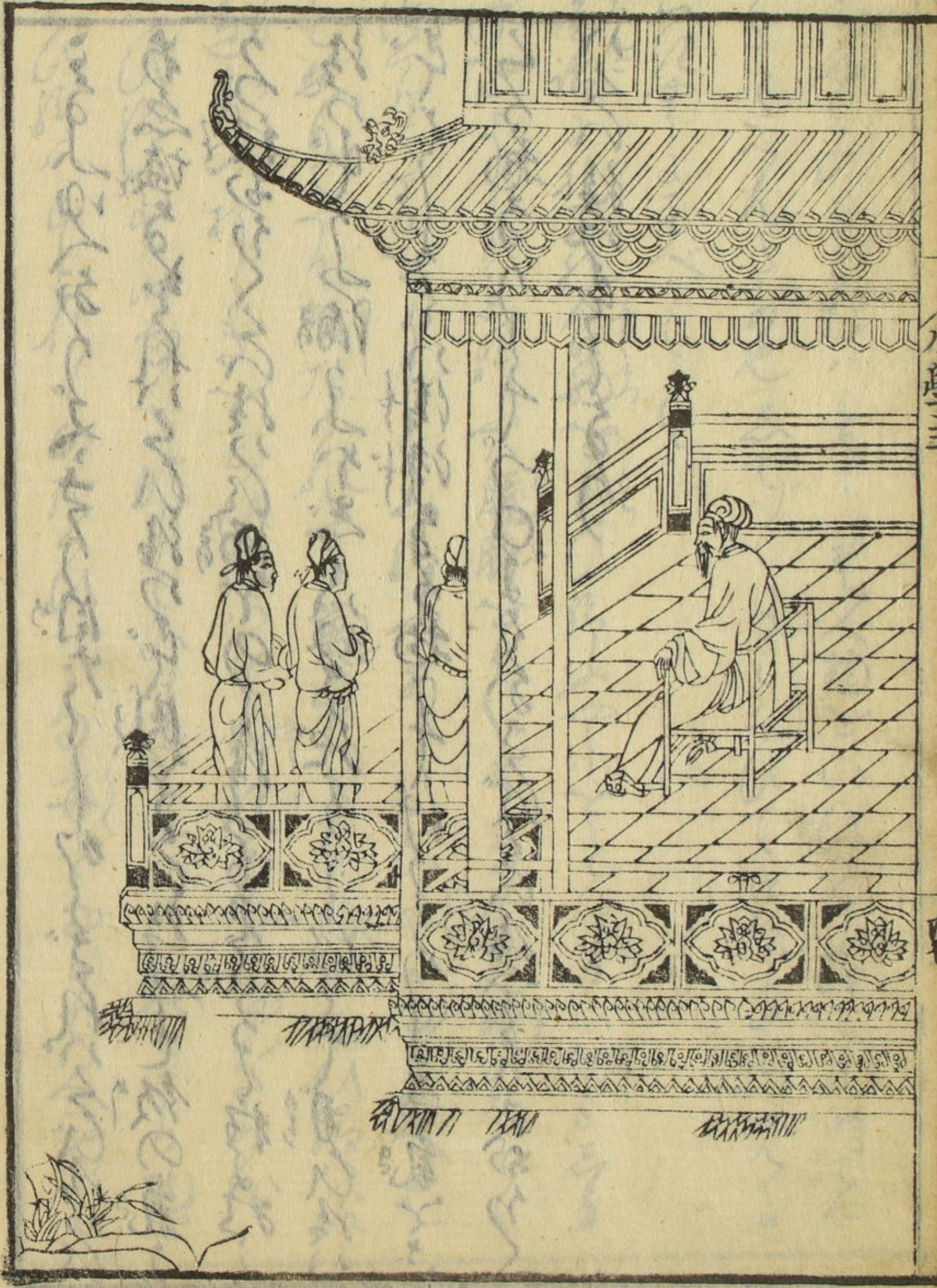
○
論語孔子の食物を以て論じたりと云けるハ飯は
げとく一と云給ハ腕肘とくくさる好之給のなき
はかりとくさく一と云給ハあくくく毒は向るゆ也
をありとく飯たれとく粟くらとく肉とくは給はた
給香のありまとくは給はた料理志をありとく状
くは給はた時めくべしていまふえのり懸せさる地と
くは給はたこれのたはくハく毒とありそくとく

こまゆあり又さる目たく一かきればくは給はた
お急遽をせればくは給はた肉とくは給はた飯の氣よ
くは給はたくは給はた酒とくは給はたもさるくは給はた
給はたくは給はた酒ふがきくは給はたくは給はた
くは給はたくは給はた清浄なる物をきげくは給はた
くは給はたくは給はたくは給はたくは給はた又あり
ハくは給はたくは給はた



一

礼記の玉藻よりけり。まろのやみ。又の客も。いも
 下るに時。礼養るれ。ハ生むる。一もゆる。の。句備
 る。の。が。ゆ。も。さ。の。時。ハ。牛。や。さ。る。も。さ。る。と。び。太
 夫。ハ。ひ。つ。と。さ。る。も。さ。る。と。び。太
 ら。び。さ。る。の。物。や。あ。る。と。さ。る。と。び。太
 下。と。さ。る。け。け。の。也。さ。る。と。び。太
 亦。あ。り。て。さ。る。と。び。太
 る。さ。さ。て。さ。る。と。び。太
 あり。〜。樂。記。より。け。り。の。也。〜。人。の。あ。ら。は。の。い。ふ。の
 い。ふ。さ。酒。と。つ。つ。〜。の。ハ。生。祖。の。ま。ろ。の。い。ふ。の。



Handwritten text in a cursive style, likely representing a transcription of the text on the opposite page. The characters are faint and difficult to read precisely, but appear to mirror the content of the adjacent page.

倭小学卷之四

誓古篇第一

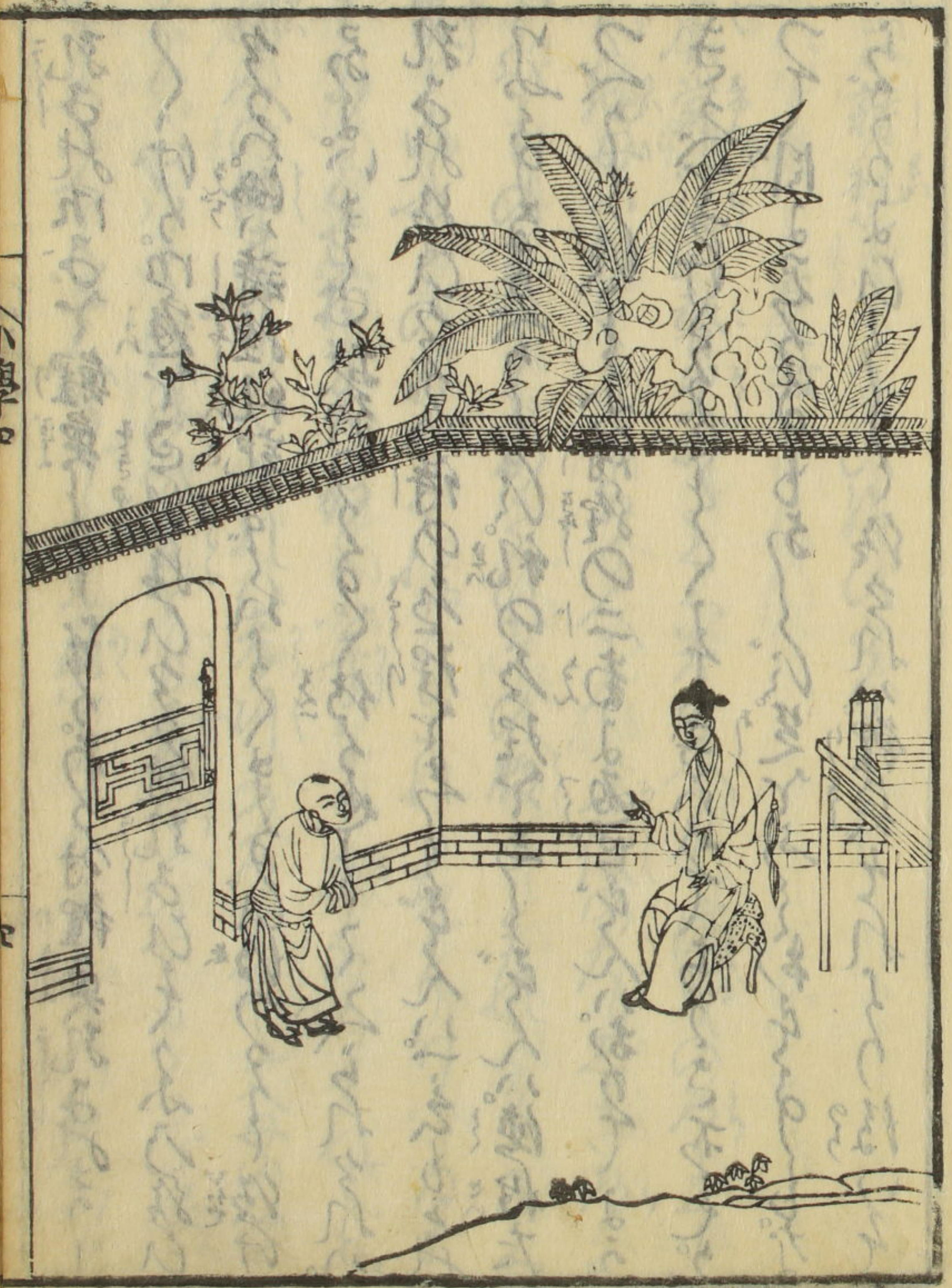
はるまはあいつの種々のあつたことかよくするて
教明備教のよくあつたことかよくするて
性よく備つたことかよくするて
長きことかよくするて
戒めよくあつたことかよくするて
そつとよくあつたことかよくするて
あつたことかよくするて
あつたことかよくするて
あつたことかよくするて

人態はおぢりれはらみとあつてはきこひぬる
のて理はゆくとあつて人のあつてはきこひぬる
りしつりそふりりつとあつてはきこひぬる
もあつてはきこひぬる

○文王母太任は性のゆふれつていたふりてよ
こふるるるつとあつてはきこひぬる
らつとこのあつてはきこひぬる
てはきこひぬる
し文王懐妊を告げてよりははたやあつてはきこひぬる
見給つて母もたふれつとあつてはきこひぬる

こつ詞とあつてはきこひぬる
ゆひたれたむと文王懐妊してつとあつてはきこひぬる
人の徳とあつてはきこひぬる
もあつてはきこひぬる
ひもあつてはきこひぬる
らつとあつてはきこひぬる
もあつてはきこひぬる
てはきこひぬる
はきこひぬる
らつとあつてはきこひぬる

といひきせうせうのりあてあがりりらう
 一々の友故よるひまうしにるあやせんとて
 さいしといのさるゝのし料短してとありり
 るんちよとくしれらりてまよあひひり
 とぞかろ男母のそぞとけひくれはまふつあま
 賢えん亞あおれれななとありけりもいりりりり



孔子れはよと鯉(りき)愛(あい)し(る)なる。わつ射(しや)鯉(りき)真(ま)孔(こう)子(し)を(ま)し(る)一(いつ)く(げ)り。而(しか)ば(よ)と(は)好(こう)む(る)射(しや)孔(こう)子(し)を(ま)し(る)ふ(ふ)の(ほ)ひ(は)く(わ)ら(は)詩(し)經(きやう)礼(らい)記(き)を(ま)し(る)ふ(ふ)く(ま)る(ま)ひ(は)つ(つ)る(る)一(いつ)く(げ)り。あ(あ)よ(よ)い(い)ま(ま)し(し)く(く)お(お)お(お)つ(つ)る(る)く(く)信(しん)也(や)と(と)く(く)ら(ら)れ(れ)る(る)ハ(ハ)孔(こう)子(し)れ(れ)好(こう)む(む)く(く)る(る)ハ(ハ)詩(し)の(の)を(を)理(り)と(と)し(し)て(て)と(と)ん(ん)に(に)ま(ま)む(む)と(と)れ(れ)り(り)の(の)ま(ま)ら(ら)る(る)べ(べ)り(り)一(いつ)く(げ)り。礼(らい)の(の)を(を)理(り)と(と)し(し)て(て)と(と)ん(ん)ハ(ハ)德(とく)性(せい)た(た)る(る)べ(べ)し(し)一(いつ)く(げ)り。詩(し)經(きやう)の(の)二(に)書(しよ)は(は)幽(ゆう)也(や)と(と)ん(ん)ハ(ハ)お(お)の(の)て(て)ま(ま)う(う)き(き)ふ(ふ)と(と)け(け)ら(ら)る(る)が(が)と(と)く(く)と(と)き(き)ふ(ふ)め(め)て(て)ち(ち)つ(つ)と(と)お(お)も(も)が(が)つ(つ)て(て)同(どう)く(く)ら(ら)る(る)の(の)も(も)あ(あ)ら(ら)ん(ん)是(こ)れ(こ)れ)と(と)し(し)て(て)お(お)も(も)の(の)し(し)だ(だ)ら(ら)る(る)よ(よ)ひ(ひ)一(いつ)く(げ)り。一(いつ)く(げ)り。禮(らい)真(ま)を(を)れ(れ)り(り)ほ(ほ)り(り)ほ(ほ)り(り)と(と)

ぎ、精(せい)礼(らい)と(と)し(し)る(る)び(び)ほ(ほ)び(び)く(く)ら(ら)と(と)

右立教

〇 虞(い)舜(じゆん)ハ(ハ)父(ちち)の(の)瞽(こ)叟(そう)か(か)と(と)く(く)ふ(ふ)か(か)る(る)人(ひと)と(と)て(て)德(とく)義(ぎ)の(の)を(を)ま(ま)ら(ら)る(る)く(く)繼(ついで)母(ぼ)ハ(ハ)ひ(ひ)と(と)り(り)一(いつ)く(げ)り。ある(る)人(ひと)と(と)て(て)忠(ちゆう)信(しん)の(の)た(た)と(と)し(し)て(て)ま(ま)ら(ら)る(る)く(く)と(と)く(く)の(の)義(ぎ)も(も)お(お)も(も)ら(ら)る(る)その(その)腹(はら)よ(よ)う(う)ま(ま)れ(れ)と(と)お(お)も(も)ら(ら)る(る)よ(よ)。象(しやう)と(と)り(り)の(の)も(も)の(の)お(お)り(り)た(た)れ(れ)と(と)も(も)お(お)も(も)ら(ら)る(る)り(り)一(いつ)く(げ)り。お(お)ま(ま)ま(ま)の(の)り(り)を(を)お(お)も(も)ら(ら)る(る)り(り)か(か)く(く)と(と)お(お)も(も)ら(ら)る(る)義(ぎ)も(も)あ(あ)り(り)た(た)れ(れ)と(と)も(も)。聖(せい)人(にん)の(の)德(とく)ま(ま)し(し)く(く)た(た)れ(れ)ハ(ハ)孝(かう)の(の)た(た)と(と)し(し)て(て)父(ちち)母(ぼ)の(の)心(こころ)と(と)し(し)て(て)わ(わ)り(り)一(いつ)く(げ)り。好(こう)む(む)く(く)る(る)身(み)も(も)お(お)も(も)ら(ら)る(る)と(と)し(し)て(て)お(お)も(も)ら(ら)る(る)び(び)だ(だ)と(と)し(し)て(て)ま(ま)ら(ら)る(る)よ(よ)ひ(ひ)一(いつ)く(げ)り。と(と)く(く)と(と)く(く)の(の)心(こころ)と(と)し(し)て(て)お(お)も(も)ら(ら)る(る)よ(よ)ひ(ひ)一(いつ)く(げ)り。

つらなりとそ

大森おほのもりはくしつ歴山りきざんよりおの農人のうじんよりけのよ耕
他の業わざより一終しゆうの付つあけくれ夫おとこよのめさておん
さけび終しゆうのいれ父母ふぼの血氣けきよあはるるいささめりて
うがわさきおれわつゆくるうべとてどがう
おとせめらりて父母ふぼの悪人あくじんあつるのけしにも
ひ終しゆうのじがく春はるのあつさき終しゆう人じんよりなれし時の足
りぎ竟まはりまささしりあよごせ終しゆうのうらりの娘むすめ
夫おとこと舞まよめあり一終しゆうのつゆよと下したとゆがりあえ
終しゆうも舞まはとくもよりこづきささてあひ

たかくあけられたうらさき終しゆう人じんよけしきささる
つらなりとそ。いささき終しゆうのあつさき終しゆうのあつさき
父母ふぼの血氣けきよあはるるいささめりて
うがわさきおれわつゆくるうべとてどがう
おとせめらりて父母ふぼの悪人あくじんあつるのけしにも
ひ終しゆうのじがく春はるのあつさき終しゆう人じんよりなれし時の足
りぎ竟まはりまささしりあよごせ終しゆうのうらりの娘むすめ
夫おとこと舞まよめあり一終しゆうのつゆよと下したとゆがりあえ
終しゆうも舞まはとくもよりこづきささてあひ

漢の揚雄ヨウキウがひい... 親カとある... 母ハハとある... 父チチとある... 弟ケイとある...
周の文王ウエンオウ父王季オウキよりつうさせ給つよチカラ毎ツネニ日ヒお躬ヒツコと登ノボ

と... 父チチとある... 母ハハとある... 弟ケイとある... 妹イモとある...
父チチとある... 母ハハとある... 弟ケイとある... 妹イモとある...

てまろぐり〜ひと料理のまれば終つけれらるゝ人
あま〜くまされは父文まよつゝ人終ふ文まわらう
ひ終ふのあれば一割もくそがとらるれ終るは冠
とらるゝ帯ととらずして看病〜終ひ合おもつゝ
の〜くまらう〜とら文まの合〜終ひとら終ひて
一とらても二とらてもそれわらうり外は終ひ
合〜終ひざるゝとらとらん

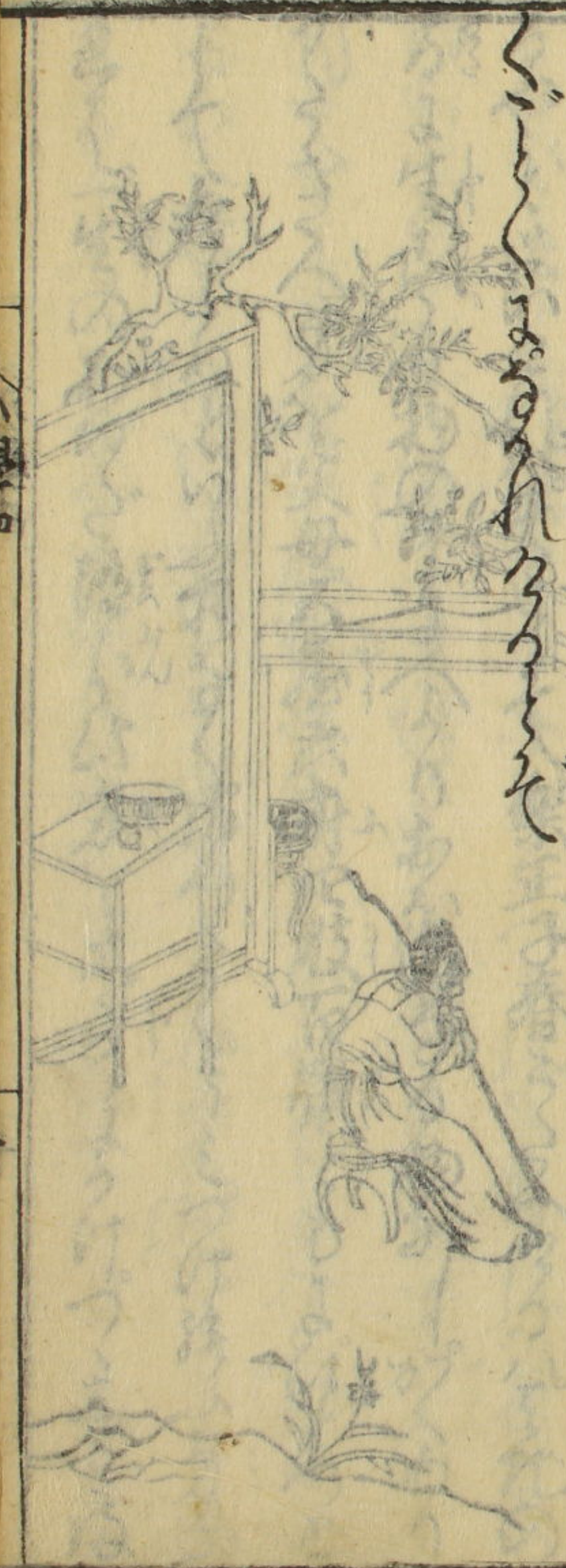
式之周文と下れ人おらりても考を終らるゝ
先祖の〜らぎ〜とらぎ〜とら祖の〜らとら終ひ
せん祖の位とら〜先祖の礼樂とあらひ先祖の〜ら

とら終ひ人〜とられ〜とらひ先祖の〜らとら
人〜とら〜とらひて先祖とららるゝ終ひとら
乃時つゝとららるゝ終ひとららるゝとららるゝとら
考れ〜ららるゝとららるゝ

周之直沖父文まよつゝとららるゝ終ひとららるゝ
終ひとららるゝ父の命とららるゝ終ひとららるゝ
とららるゝ終ひとららるゝとららるゝとららるゝ
終ひてとららるゝとららるゝとららるゝとららるゝ
とららるゝとららるゝとららるゝとららるゝとららるゝ
けららるゝとららるゝとららるゝとららるゝとららるゝ

くろくをかくて... 老来子ハセ命ある親より... 世に生かすは... 親の... 思ひ... せう... せう... せう...

とられし古... 衣袋... 世に生かすは... 親の... 思ひ... せう... せう... せう...



るゆゑにうんとおのひもさうあつて結ぶ也とてこ
えけつ也して親はせつうんせうくんにうのいふ
ありうらむけしとさうしとさうしてたうさ
飛あつてくるうんとおのひもこれ後あつ
よきうの上也内なるうらむけつとてかのも
さうの中也とてさうさうさうさうさうさう
とて下等のふんあり
云明宣常おれあつてありてさうさうさうさう
つあつて書籍とてさうさうさうさうさうさう
そと向はつて明宣とてさうさうさうさうさう

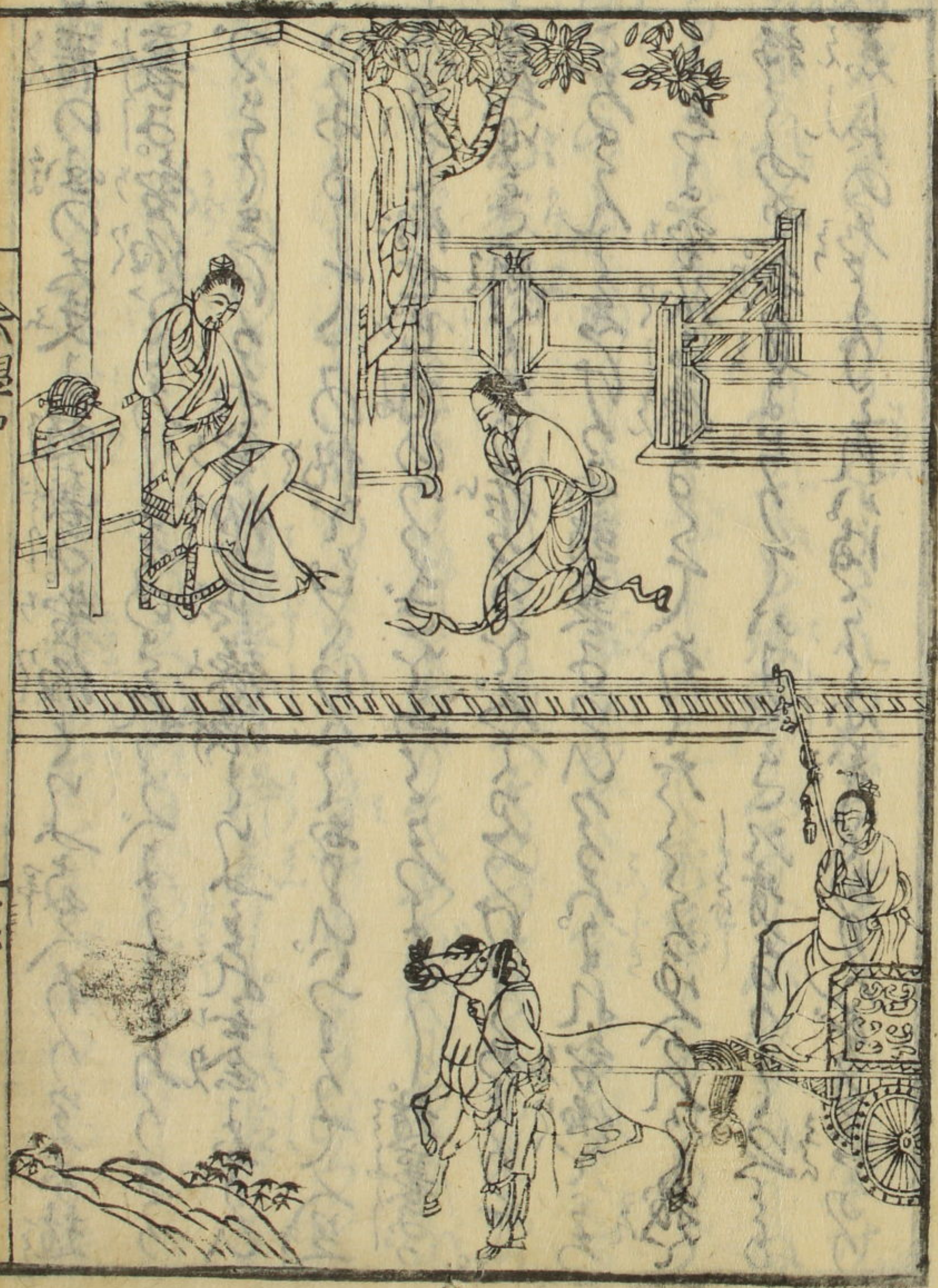
ていつつとてさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさう
よむいとあつてさうさうさうさうさうさう
ひとさうさうさうさうさうさうさうさう
おさうさうさうさうさうさうさうさう
よさうさうさうさうさうさうさうさう
とてさうさうさうさうさうさうさうさう
おさうさうさうさうさうさうさうさう
なさうさうさうさうさうさうさうさう
いとさうさうさうさうさうさうさうさう

本坊一修りしつらるるふもあつたのたふに修りしつらるる
 うりやふもあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 くれもあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 してあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 あつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに

常におもひに修りしつらるるふもあつたのたふに
 修りしつらるるふもあつたのたふに修りしつらるる
 してあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 してあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 してあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに

りとらるるたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 死よのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 してあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 してあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 してあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに

敬の討ま象集とのみ結集する様をうらみられ
 まは舞子とれとてさげさつたひかりのくあつた
 ありやあつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 玉のさつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに
 とつたのたふに修りしつらるるふもあつたのたふに



ところの村の車よりあり。其のりし後、中津のりし車乃
 ちあるより、^ままのりしけり。さるるよりあり。其のり
 居る者あり。まのりしけり。さるるよりあり。其のり
 七の車よりあり。其のりしけり。さるるよりあり。其のり
 されぬれども、^ままのりしけり。さるるよりあり。其のり
 玉のち長しあり。まのりしけり。さるるよりあり。其のり
 あり。まのりしけり。さるるよりあり。其のり
 あり。まのりしけり。さるるよりあり。其のり
 あり。まのりしけり。さるるよりあり。其のり

晋の王の大夫は趙襄子智伯とて一人ありてその趙
 襄子智伯を以てそのさしやうにやうにありて
 つとむるをけりし。智伯は長後徳ありしを以て
 いうもしてこの仇をむしりんとおひつゝして人
 のまはれせしむるのつぎをあらはせし。趙襄子
 是ゆき剛とて力ありてつとむるをけりし。智伯
 こゝろえんとしてけりし。趙襄子のひかりを
 しては智伯の子孫をすておしたるをけりし。我
 神の也我身よりしてはつとむるをけりし。我
 善長のをけりし。ははれし。おのれをけりし。

かのんきし。あつちんし。人むむ。人あり。とてなげ
 びされたる。よもなれ。ては。縁。縁。く。ん。ふ。あ。の。ひ。は
 ら。び。し。て。な。が。ま。り。し。て。疾。病。あり。あ。り
 炭の。て。あ。り。し。る。の。も。あ。り。て。食。へ。れ。ん。じ。つ
 一の。而。氣。も。あ。り。し。る。人。の。つ。ま。み。も。あ。り。し。る
 り。あ。り。し。る。あ。り。し。る。い。れ。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る
 して。い。れ。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る
 めん。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る
 あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る
 時。よ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る。あ。り。し。る

平家物語

七

のりあつてあつてせり。後儀のひくろくはがのりあ
 つかひくろくはがのりあ。なぐりつて。又ひそつて
 せり。なぐりつて。なぐりつて。なぐりつて。なぐりつて。
 める。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 して。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 みが。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 越。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 さら。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 後儀榜の下より。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

〇主條貫ハ新の國主の大夫より。新のあつて。あつて。あつて。
 化。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 して。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 あり。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 其。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 主。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 海。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 志。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
 ま。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

アのひたつる因まてころーまうとれハ俾齒あり我
とちうしうと食せしとちもふもてうんともりうハ
の着とねぶーとりのひされハれまうとる市人
人ありたりとひもめてまはさつのおは俾齒とち
しとあり

○晋の大夫白季齊侯よゆく時箕よりみおとゆりたり
も部族とりの百姓田の弟の成とりて居たりあそれ書
ひりりーとりまうりて田のあせとて部族とち
たりとまぬあともふもひあてひとよ客人と射
とちとてくもりのたれハ白季ひりーとけくくとえま

ゆりてありれまふ文とよげまのり徳ありとも
うらひさあけ用ひ終りーとちあまのりなれハ文
も心感とちよたのめあひしてまぬともは官位よ
のちせ終ひたりとち
○ら文伯の母ハ季康子の祖の兄弟の妻あり。あり時季
康子文伯の母のり人なまのよゆきとらる。門とひり
てたのよ物とらりまけまともあ人ありとちまうとち
しとありとつわよとちまうりなれハ孔子あてまう終ひ
て男女の礼後とらうとらりてとちうと風と終り
○衛の共姜ハ共伯の妻あり。共伯とち死して共姜ハ

まごころのりなれぬ父母をいへばとつせんとたひ
くものうらなれども共善なるは同らせぬ相あし
りしむとつりてさうらうとあつりしむ
死をともぞとびあまよまうとらうのれぬ父母
もせんつらなれどあひいとまうりなれど
慈人の善いよとて種あつとあま
病とつらなれぬ善の母じとあつとあま
あつとあまいへばとつせんとつせんとつせんと
あつとあまいへばとつせんとつせんとつせんと
あつとあまいへばとつせんとつせんとつせんと
あつとあまいへばとつせんとつせんとつせんと

あまよまごころのりなれぬ父母をいへばとつせんとたひ
くものうらなれども共善なるは同らせぬ相あし
りしむとつりてさうらうとあつりしむ
死をともぞとびあまよまうとらうのれぬ父母
もせんつらなれどあひいとまうりなれど
慈人の善いよとて種あつとあま
病とつらなれぬ善の母じとあつとあま
あつとあまいへばとつせんとつせんとつせんと
あつとあまいへばとつせんとつせんとつせんと
あつとあまいへばとつせんとつせんとつせんと
あつとあまいへばとつせんとつせんとつせんと

小野

集

他美叔齊兄弟の流傳の長のもや父つひく弟の叔齊

